

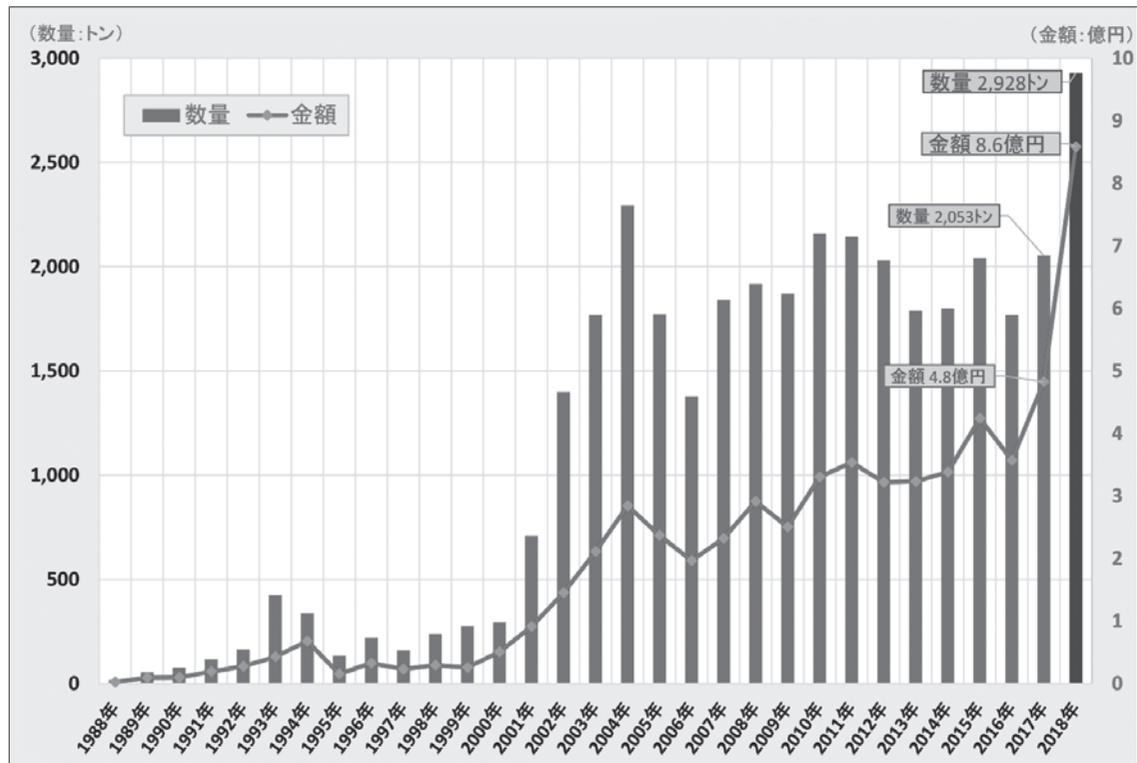
タピオカドリリンクブームが続くなか、専門店の開業が相次ぐ京都市中心部の繁華街でカップごみの放置が目立っている。粒や液体を残したまま公園にポイ捨てしたり、自動販売機用ごみ箱へ捨てたりする人が多く、街の清掃ボランティアも頭を悩ませている。

夏休み終盤の土曜日、若者や観光客でにぎわう新京極公園（中京区）。自販機用に設置されたごみ箱は、無理に突っ込まれたタピオカ容器で投入口がふさがれ、周囲には黒い粒の食べ残しが目立つカップやペットボトルが散乱していた。

公園の清掃を続ける中之町町内会の中川富雄会長（69）は「一人が捨てるにあつという間に増えていくし、花壇に投げ込む人もいる」とため息。町内のタピオカ店に対しては「ごみ対策を求めていると言いつつ、「店頭に回収箱を設置し、客にごみを戻すよう呼びかけてほしい」と訴える。

（令和元年8月30日付『京都新聞』「タピオカごみ ポイ捨て」より前半部抜粋）

※学年の発達段階を考慮して、表記を変更し、全文は示さない。エピソードと町内会長の言葉を中心にする。



東京関税ホームページより  
<http://www.customs.go.jp/tokyo/content/toku3101.pdf>



①



②



③



〔写真①〕③は、令和元年8月30日付「京都新聞」  
「タピオカごみ ボイ捨て」より

一人がすてるとあつという間に  
ふえていくし、花だんに投げ  
こむ人もいる



道徳プリント ○月◇日

名前 ( ) ( )

◎なぜ、こんなふうにするのだと思いますか。

--	--

◎みなさんのまわりにも(だれかがしているからやってしまう)ことはあるでしょうか。

--	--

◎(正しい)ことをするには、(どんな)ことに気を付けるとうよいと思いますか。

--	--